

岩手ふるさと米栽培資料

5月の青空指導は
資料配布のみとなります。

今月のポイント

- ① 水管理: 初期生育を確保するため、天候に応じた水管理をしましょう。(活着・分けつ促進)
- ② 一発除草剤の効果的な使用: 使用する一発除草剤を確認し、使用方法に基づき散布しましょう。
- ③ 中期除草剤の適正使用: 中期除草剤は、使用方法に基づき散布しましょう。
- ④ カメムシ対策: カメムシの発生抑制のため、畦畔等の草刈りはこまめに行いましょう。

【令和5年産米の水管理・除草期間の反省点】

- ・藻類や表層剥離が発生し、分けつが進まなかった。→多発の場合は水の入れ替えも必要です。(この場合、除草体系の見直しも必要)また、毎年発生がみられる圃場は表層剥離等に適用のある除草剤を早めに散布しましょう。
- ・雑草の取りこぼしが多くみられた。→一発除草剤は湛水状態ではじめて効果を発揮します。圃場の状態に応じた剤形を選択することも必要です。詳しくは別紙資料のチェックポイントを確認してください。

水管理 ポイント①: 初期生育を確保するため、天候に応じた水管理を行いましょう。

1. 移植後の水管理

① 生育状況や天候に応じた水管理を行いましょう。

- 1) 活着するまでは、植え傷み等による葉面からの蒸散を防ぐため、深水管理(葉が2~3cm 出る程度)としましょう。
※活着の日安は、葉と茎を引いても抜けない状態。

2) 活着後の晴れの日は、田面が露出しない2~3cm 程度の浅水とし、地温の水温上昇を促し、分けつ促進に努めましょう。最高気温15℃以下の寒い日や風の強い日は5cm 程度の深水管理とし稲体を保護しましょう。

② 昼間止水、夜間灌漑により生育の促進を行いましょう。

水引きの時間帯は気温と水温の差が少ない夕方から早朝に行い、日中は水を動かさないようにしましょう。

③ 低温時の注意点: 低温が続く場合、時期にかかわらず深水管理とし稲体を保護しましょう。

天候に応じたこまめな水管理により、早期に有効分けつを確保する事が、収量と食味アップのポイントです!



2. 水の入替えが必要な水田(水の入替えはしっかり落水してから行う)

① 青カナなどの藻類が多発する。(有機物の多投、水温20℃前後、少雨で気温が高い)

※水の入替えでは改善できない場合は、「モグトン粒剤」を散布。

→(特別栽培米では使用できませんので注意してください)

② 稲わらや堆肥などの有機物を多投した。転作田を復元した。(ガス湧きが発生)

③ 水持ちが良いために根腐れが発生する。

水を入れ替えても藻類が抑えられない場合は、次年度の耕種概要等を見直しましょう。

3. 稲の生育ステージに応じた水管理の目安

生育ステージ	平年の時期	水位	
		浅水	深水
田植え~活着まで	田植え後3~4日	葉先が2~3cm出る程度	
活着期	活着後5日程度	2~3cm	5cm程度
分けつ期	田植え後一週間程度~6月24日頃まで(株当り25本を目標)	3~5cm	7~10cm
中干し	6月21日頃~7月10日頃(有効分けつが確保できたら実施)	0cm	
幼穂形成期	7月11日頃~7月20日頃	3~5cm	10~15cm
減数分裂期	7月20日頃~7月30日頃		15cm以上

植え直しについて 除草剤を効かせるためにも植え直しは、極力控えましょう!

欠株や一本植えの株が生じて、隣の株が大きくなり、水田全体では茎数・穂数が調整され、収量にはほとんど影響しません。連続で5株以上の欠株を除き、植え直しの必要はありません。

除草剤 ポイント②: 使用する一発除草剤を確認し、使用方法に基づき散布しましょう。

一発除草剤 { 特別栽培米 ⇒「ベツカク」
ふるさと純情米⇒「ベツカク」「流星」「ライジンパワー」等

1. 一発除草剤の使用法について

- 1) 気温が高いと、ノビエなどの葉齢進展が早くなることから早めに散布しましょう。
- 2) 代掻き後の日数とノビエの葉齢を確認し、適期に除草剤の散布を行いましょう。
- 3) 散布後は、有効成分が土壌表面に吸着し、処理層を形成するまで、少なくとも1週間程度は湛水状態を保ってください。
- 4) 除草剤を散布した後に、植え直しのため水田に入ると除草剤の処理層が壊れ、雑草の発生を助長させる原因となりますので、植え直しはしないようにしましょう。また、植え直しをすると薬害が生じる可能性があります。

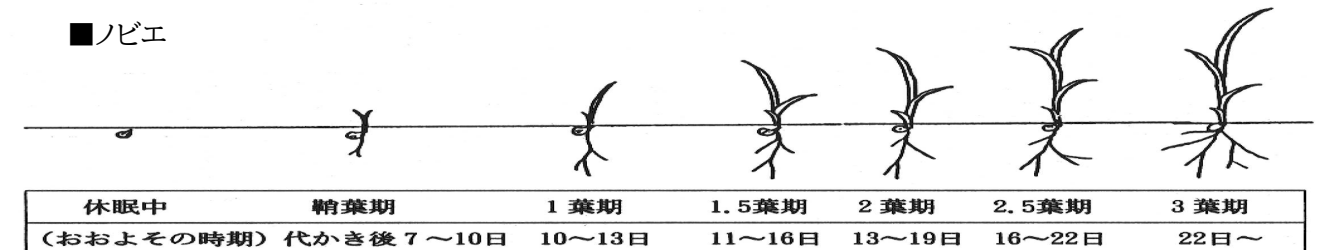
商品名	剤型	10aあたり使用量	使用時期	使用方法	水深
ベツカク	1キログラム粒剤	1kg(1袋)	移植直後~ノビエ3葉期 ただし移植後30日まで	湛水散布 ※田植同時処理可能	5cm以上
	ジャンボ	250g (小包装(パック)10個)	移植後3日~ノビエ3葉期 ただし移植後30日まで	湛水散布 (小包装のまま投入)	10cm以上
	豆つぶ250	250g (1袋2.5kg入:1ha分)		湛水散布、湛水周縁散布、 水口施用又は 無人航空機散布	5cm ~ 10cm

※特別栽培米の一発除草剤は令和6年産から「ベツカク」になります。

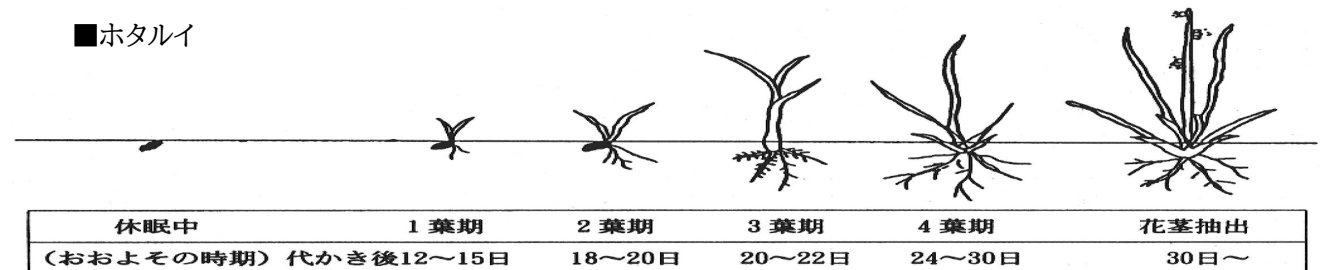
※その他、特別栽培米・ふるさと純情米で使用できる除草剤については、「春肥料施肥設計指導会資料(ピンク色の冊子)」をご覧ください。また、使用方法等についてはラベルを参考にしてください。

2. 一発除草剤の有効な活用方法

■ノビエ



■ホタルイ



除草剤は、使用上の注意をよく読んでから、適期に散布しましょう!!

- ① 漏水田・砂壌土の場合は、粒剤の散布をお勧めします。※漏水田の場合は、畦畔の補修を事前に実施しましょう。
- ② 代掻きからの日数や雑草の発生状況を考慮し、代掻き後10日以内に散布しましょう。
- ③ 藻類が発生した場合は、除草剤が拡散しにくくなるので、早めの散布を心がけましょう。
- ④ 散布の5～10cm程度の湛水で行い散布後1週間程度は農薬が流出しないよう止水としましょう。
- ⑤ 中干し時期までは、湛水状態を保ち、田面を露出させない水管理をしましょう。
- ⑥ 除草剤散布後は、除草剤の処理層が壊れてしまうため、水田に入らないようにしましょう。

※田植え同時処理後は、速やかに入水をお願いします(確実な除草効果と薬害防止のため)。

3. 中期除草剤の使用方法について

ポイント③: 中期除草剤は、使用方法に基づき散布しましょう

※特別栽培米は「バサグラン」のみの使用できます(ノビエには効果がありません)。



中期除草剤 : 特別栽培米⇒「バサグラン」 ふるさと純情米⇒「レブラス」「クリンチャーバス ME」等
※中期除草剤は雑草の取りこぼしがあった場合に使用しましょう。

	商品名	剤型	主な対象雑草	使用時期	10a当り 使用量
湛水散布	レブラス	1キログラム粒剤	水田一年生雑草、ホタルイ、オモダカ、クログワイ、シズイ等	移植後14日～ルビエ4葉期 ただし、収穫60日前まで	1kg
		ジャンボ			10個 (400g)
落水散布	クリンチャーバスME	液剤	水田一年生雑草、ホタルイ、オモダカ、クログワイ、シズイ等	移植後15日～ルビエ5葉期 ただし、収穫50日前まで (落水散布又はごく浅く湛水して散布)	1000ml (希釈水量: 70～100ℓ)
	バサグラン	粒剤	水田一年生雑草(イネ科を除く) ホタルイ、オモダカ、クログワイ、シズイ等	移植後15～55日 ただし、収穫60日前まで (落水散布又はごく浅く湛水して散布)	3～4kg
液剤		※クログワイは草丈15cm以下、シズイは20cm以下で使用	500～700ml (希釈水量: 70～100ℓ)		

【注意事項】

- ①「レブラス」及び「クリンチャーバス ME」はふるさと純情米で使用できます。
- ②雑草の発生状況に応じて、早めに散布しましょう。
- ③「レブラス」は湛水で散布し、散布後3日間は湛水とし、1週間は落水・かけ流しをしないでください。
- ④「クリンチャーバス ME」と「バサグラン」は、以下に注意し散布しましょう。
ア 水口・水尻を止め、落水(足跡に水が残る程度)状態で、均一に散布しましょう。
イ 散布後、2日以内の雨は効果が劣りますので、天候を見ながら散布しましょう。

**生産履歴(作業内容・農薬名・肥料名・散布日・使用量など)の
記帳を忘れずに行いましょう!**

病害虫防除

1. 葉いもち防除

①植え直し用の取り置き苗は、葉いもちの発生原因となります。

圃場内に放置せず速やかに埋没するなど処分をしましょう。

②前年いもち病が多発した水田、多肥や復元田などで稲の生育が旺盛な水田は、いもち病が発生しやすいので、圃場をよく観察しましょう。

2. カメムシ対策 ポイント④: カメムシ抑制のため、畦畔等の草刈りはこまめに行いましょう。

畦畔等のイネ科雑草を出穂させないことで、カメムシの発生密度を低減させることができます。カメムシ抑制対策として、畦畔・農道・法面等の草刈りを5月25日頃までに行いましょう。また、水田内にイネ科雑草があると、カメムシの発生源となりますので中後期除草剤で雑草防除を行いましょう。

心化盛期を目安に地域全体で草刈りを行い、カメムシの発生密度低減に努めましょう。
 <<心化盛期>> 江刺地点 昨年:5月22日 平年:5月24日

その他

参考値 昨年の衣川地域「ひとめぼれ」展示圃 平均の生育状況

	草丈(cm)	葉齢(葉)	茎数/株(本)
移植時	13.0cm	2.9葉	5本移植
6月5日	25.8cm	11.4葉	5.9本

～令和6年産GAPチェックシートの取り組み(5月編)～

令和5年産のGAPチェックシート集計結果からチェック率の低い項目を毎月紹介していきます。令和6年産ではチェック欄に○がつくよう取り組んでいきましょう!

「(必須項目)農薬の保管場所は施錠されている」(64.5%)

「(必須項目)鍵の保有者が特定できる」(64.3%) ※カッコ内は○のチェック率

→必須項目は特に意識して取り組むようにしましょう。

■ 水稻の栽培、農薬使用等に関するお問い合わせは…

平日 午前8:30～午後5:00

衣川地域センター-営農ダイヤル	営農アドバイザー-携帯電話
52-3204	080-5559-8955(小野寺 良)
衣川地域センター-営農経済課	080-6027-6137(伊藤 俊義)
52-3212	090-4478-9918(高橋 明子)

■ 生産資材・生活資材のご注文・配達…

拠点配送センター 0120-516-911(フリーダイヤル)

■ 生産資材等の直取り・窓口供給は…

衣川資材センター 52-3214 営業時間:午前8:30～午後5:00

休日対応 5月 土曜・日曜日 午前8:30～正午

6月 土曜日 午前8:30～正午 ※期間を通し祝祭日は休業。

LINE 公式アカウント

友だち 募集中

@703kysml
うれしい情報をLINEでお届け!

LINEにて営農情報を発信中です! 上記QRコードからお友達登録をお願いします。